

証券コード：3284

2026年3月期

決算説明資料

株式会社フージャースホールディングス



2026.5.13

2026年3月期

決算説明資料

- **01** エグゼクティブサマリー
- **02** 2026年3月期 通期決算概要
- **03** 2027年3月期 通期業績予想
- **04** サステナビリティ
- **05** Appendix

01

エグゼクティブサマリー



エグゼクティブサマリー

2026年3月期
通期決算サマリー

連結損益

増収増益
過去最高益達成

増配74円
(前期比+12円)

中期経営計画進捗

5か年の累計進捗率
経常利益：109%
当期純利益：104%

計画達成

仕入進捗

1,000億円 (※想定原価ベース) 新規に積み上げ、
想定売上高約4,700億円分
確保

2027年3月期
通期業績
および
株主還元方針

連結通期業績予想

経常利益
108億円
親会社株主に帰属する
当期純利益
72億円
最終利益で増益を計画

配当計画

1株当たり配当金
75円を計画
(前期比+1円)

業績概況

- ・マンション引渡戸数は減少するが、戸当たり単価及び売上総利益率が向上
- ・マンションの引渡は4Qに偏るが、収益不動産の売却を各Qで予定

02

2026年3月期 通期決算概要



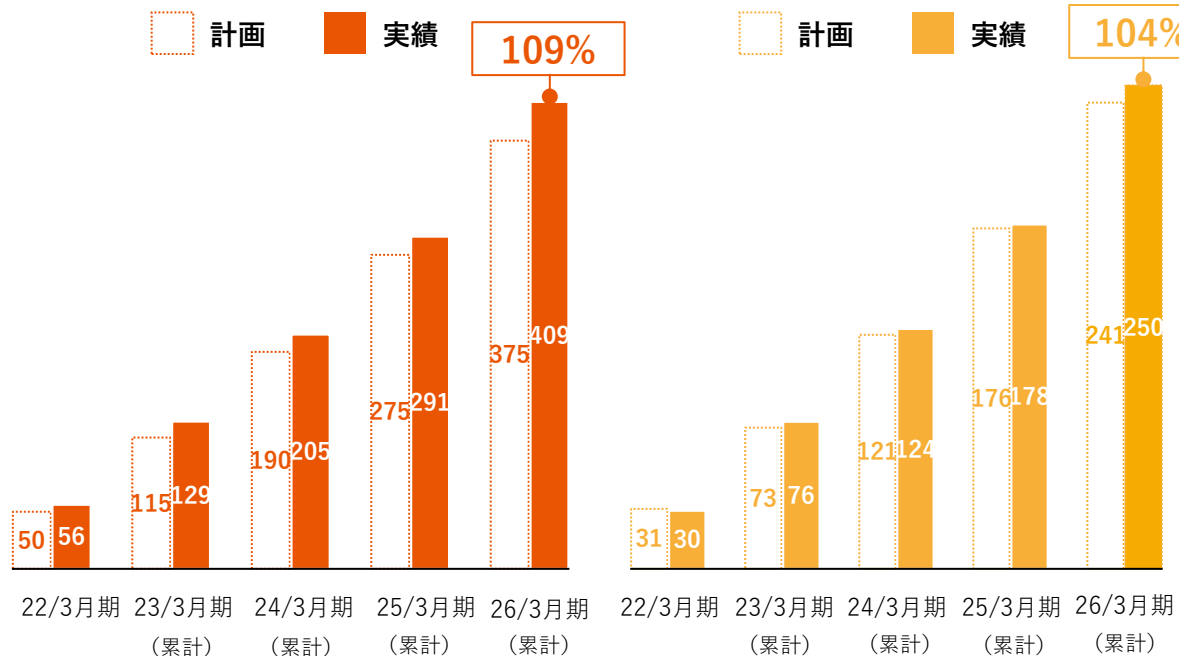
第2次中期経営計画に対する進捗

- 5か年累計の利益計画に対し、経常利益109%、親会社株主に帰属する当期純利益104%の達成
- 外部環境の変化を適切に捉えながら経営判断を実行し、連結利益の安定的な成長を実現
- ROE、D/Eレシオについても、事業成長と財務健全性の両立を図ったコントロールを実施

利益計画に対する累計実績及び進捗率

経常利益 (単位: 億円)

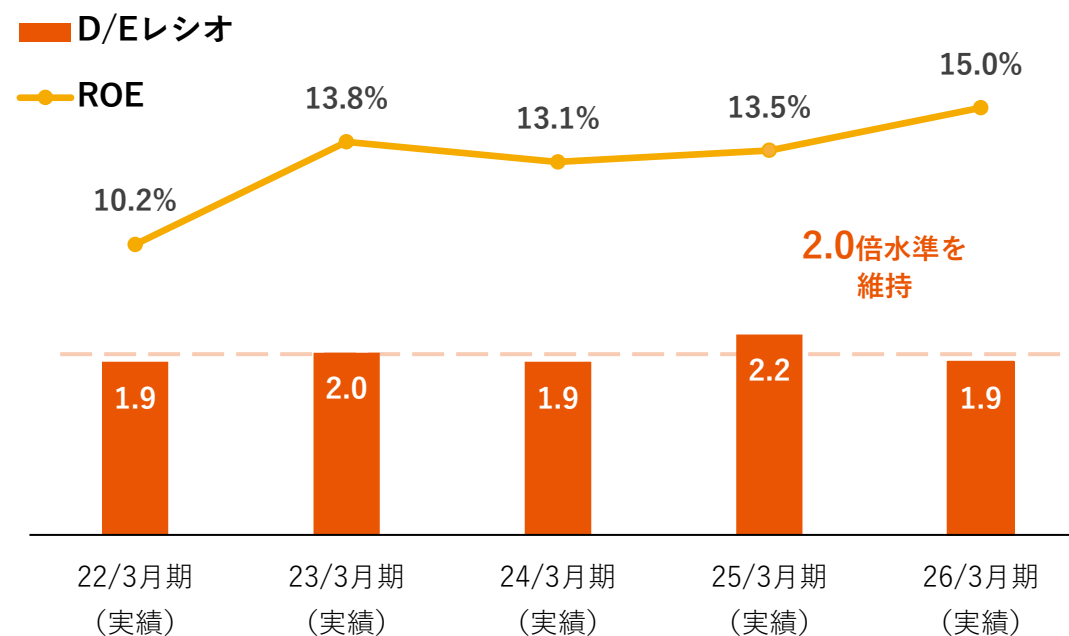
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位: 億円)



109%

104%

資本・財務関連指標実績



2.0倍水準を維持

連結損益計算書

- 売上高138,579百万円、営業利益13,800百万円、経常利益11,820百万円、親会社株主に帰属する当期純利益7,129百万円を計上
- 売上高及び各利益において過去最高を達成
- 建築コスト上昇、金利上昇に伴う借入関連費用の増加等、一定のコスト増がありながら、引渡戸数及び売却棟数の増大により、中期経営計画の利益目標を上回って達成

(単位：百万円)	24/3月期		25/3月期		26/3月期		26/3月期	対計画
	実績	前期比 増減率	実績	前期比 増減率	実績	前期比 増減率	通期計画	達成率
売上高	86,418	9.0%	92,153	6.6%	138,579	50.4%	132,500	104.6%
売上原価	65,980	9.6%	70,359	6.6%	108,102	53.6%	—	—
売上総利益	20,437	7.1%	21,794	6.6%	30,476	39.8%	28,800	105.8%
販売費及び一般管理費	11,494	7.8%	12,566	9.3%	16,676	32.7%	—	—
営業利益	8,943	6.1%	9,227	3.2%	13,800	49.6%	12,900	107.0%
営業外収益	860	28.5%	1,506	75.1%	1,108	△26.4%	—	—
営業外費用	2,203	21.4%	2,129	△3.4%	3,089	45.1%	—	—
経常利益	7,599	4.4%	8,604	13.2%	11,820	37.4%	10,000	118.2%
特別利益	18	△76.4%	66	266.7%	445	572.8%	—	—
特別損失	105	51.3%	262	149.5%	848	222.9%	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	4,806	5.5%	5,462	13.7%	7,129	30.5%	6,500	109.7%

セグメント別業績 不動産開発

- 引渡戸数は前期比+201戸増の1,263戸の引渡が完了。期初計画通り着地
- 売上総利益率について、想定範囲内ではあるが、計画を若干下回り18.9%の着地。竣工戸数が多く、B/Sコントロールの観点から連結利益に影響のない範囲で、売却引渡を推進

	(単位：百万円)								
	24/3月期		25/3月期		26/3月期		26/3月期	対計画	
	実績	前期比増減	実績	前期比増減	実績	前期比増減	通期計画	達成率	
売上高	50,949	1.9%	53,767	5.5%	63,644	18.4%	61,500	103.5%	
マンション	42,534	△7.2%	50,968	19.8%	56,293	10.4%	—	—	
戸建	3,496	23.9%	404	△88.4%	1,738	330.2%	—	—	
その他	4,918	267.7%	2,395	△51.3%	5,611	134.3%	—	—	
売上総利益	11,168	△10.8%	12,499	11.9%	12,013	△3.9%	12,300	97.7%	
マンション	8,765	△21.4%	11,176	27.5%	10,361	△7.3%	—	—	
戸建	887	32.3%	32	△96.3%	392	1,102.1%	—	—	
その他	1,515	117.6%	1,291	△14.8%	1,259	△2.5%	—	—	
売上総利益率	21.9%	△3.1pt	23.2%	+1.3pt	18.9%	△4.4pt	20.0%	△1.1pt	
マンション	20.6%	△3.7pt	21.9%	+1.3pt	18.4%	△3.5pt	—	—	
戸建	25.4%	+1.6pt	8.1%	△17.3pt	22.6%	+14.5pt	—	—	
営業利益	4,166	△35.1%	4,849	16.4%	2,695	△44.4%	—	—	
引渡戸数 マンション	1,066戸	△80戸	1,062戸	△4戸	1,263戸	201戸	1,266戸	99.8%	
引渡戸数 戸建	52戸	13戸	9戸	△43戸	17戸	8戸	17戸	100.0%	

不動産開発

セグメント別業績 CCRC

- 引渡戸数250戸、売上高14,268百万円、期初計画通り着地
- 3棟竣工し、増収増益。運営戸数は2,631戸に増加（前期比+428戸）
- 販売の長期化が見込まれる一部物件について、戸数進捗を優先し、全体の売上総利益率は19.5%で着地

CCRC	(単位：百万円)		24/3月期		25/3月期		26/3月期		26/3月期	対計画
	実績	前期比 増減	実績	前期比 増減	実績	前期比 増減	実績	前期比 増減	通期計画	達成率
売上高	12,145	△8.8%	3,726	△69.3%	14,268	282.9%	14,000	101.9%		
売上総利益	3,587	6.6%	832	△76.8%	2,787	234.8%	2,800	99.5%		
売上総利益率	29.5%	+4.3pt	22.3%	△7.2pt	19.5%	△2.8pt	20.0%	△0.5pt		
営業利益	2,193	40.6%	△355	△116.2%	706	—	—	—		
引渡戸数	256戸	△31戸	42戸	△214戸	250戸	208戸	251戸	99.8%		
運営戸数	2,091戸	149戸	2,203戸	112戸	2,631戸	428戸	—	—		

セグメント別業績

不動産投資

- 賃貸マンション需要の高まり、売却市況の好調が続き、売上・利益ともに計画値を上回って着地
- 東京都心エリア、恵比寿（渋谷区）・高円寺（杉並区）等にて、1棟当たりの売上規模も比較的大きい物件の開発・売却を実施

	24/3月期		25/3月期		26/3月期		26/3月期	対計画	
	実績	前期比増減	実績	前期比増減	実績	前期比増減	通期計画	達成率	
(単位：百万円)									
売上高	16,553	70.2%	27,621	66.9%	53,794	94.8%	50,000	107.6%	
売上総利益	4,028	146.3%	6,703	66.4%	13,658	103.7%	11,980	114.0%	
売上総利益率	24.3%	+7.5pt	24.3%	△0.1pt	25.4%	+1.1pt	24.0%	+1.4pt	
営業利益	2,259	3,926.7%	4,404	94.9%	9,505	115.8%	—	—	
収益不動産	中高層賃貸マンション売却数	9棟	5棟	10棟	1棟	13棟	3棟	14棟	92.9%
	低層賃貸マンション売却数	9棟	4棟	10棟	1棟	12棟	2棟	12棟	100.0%

不動産投資

セグメント別業績

不動産関連サービス

- 累計21,860戸の管理戸数を順調に積み上げ、安定収益を確保。増収増益
- 人件費高騰や物価高の影響を受けつつも、運営の効率化や適切な価格転嫁により、成長を維持

	24/3月期		25/3月期		26/3月期		26/3月期	対計画	
	実績	前期比 増減	実績	前期比 増減	実績	前期比 増減	通期計画	達成率	
(単位：百万円)									
不動産関連 サービス	売上高	7,967	12.1%	8,465	6.3%	8,478	0.2%	8,600	98.6%
	売上総利益	1,901	△0.1%	2,011	5.8%	2,156	7.2%	2,040	105.7%
	売上総利益率	23.9%	△2.9pt	23.8%	△0.1pt	25.4%	+1.7pt	23.7%	+1.7pt
	営業利益	346	△14.9%	403	16.6%	541	34.1%	—	—
マンション管理戸数	19,662戸	953戸	20,648戸	986戸	21,860戸	1,212戸	—	—	

連結貸借対照表

- 4Q竣工の分譲マンションが多く、計画通りだが、販売用不動産は増加
- 保有固定資産は、継続的な資産入れ替えにより、年々減少
- 増資の実施、有利子負債額のコントロールにより、財務レバレッジは適正水準を維持

資産の部

(単位：百万円)	24/3月期末	25/3月期末	26/3月期末	前期比 増減額
流動資産	132,643	153,907	170,027	16,119
現金及び預金	30,709	29,665	37,933	8,267
販売用不動産 A	19,279	20,442	41,008	20,566
仕掛販売用不動産 B	75,748	94,506	84,015	△10,490
その他	6,907	9,293	7,069	△2,223
固定資産 C	31,756	25,950	19,139	△6,810
土地	10,870	9,489	4,300	△5,188
建物等	12,701	9,168	6,564	△2,604
その他	8,184	7,292	8,274	981
繰延資産	—	—	25	25
資産合計	164,399	179,858	189,192	9,334

ポイント

- A** 販売用不動産：竣工済分譲マンション及び27/3期売却予定の収益不動産を計上
- B** 仕掛販売用不動産：竣工控えの多かった25/3期末比では減少するも仕入は進捗
- C** 固定資産：一部入れ替えにより減少

負債の部・純資産の部

(単位：百万円)	24/3月期末	25/3月期末	26/3月期末	前期比 増減額
負債	117,541	131,964	133,870	1,906
有利子負債合計 D	90,664	106,634	106,104	△529
短期有利子負債	25,914	37,217	31,487	△5,729
長期有利子負債	64,750	69,417	74,617	5,200
その他負債	26,876	25,329	27,766	2,436
純資産 E	46,858	47,894	55,321	7,427
株主資本	36,693	40,101	50,910	10,809
その他	10,164	7,792	4,410	△3,381
負債純資産合計	164,399	179,858	189,192	9,334

ポイント

- D** 有利子負債：財務レバレッジ適正水準でコントロールを実施
- E** 純資産：増資（25/9実施）に伴い、純資産が増加

B/S指標、連結キャッシュ・フロー他

- 自己資本比率28.0%、D/Eレシオ1.9倍。適正水準維持

B/S指標

	24/3月期末	25/3月期末	26/3月期末
自己資本比率	23.6%	23.4%	28.0%
D/Eレシオ	1.9倍	2.2倍	1.9倍

連結キャッシュ・フロー (CF)

(単位：百万円)

	24/3月期末	25/3月期末	26/3月期末
営業CF D	186	△14,122	10,628
投資CF	△2,407	274	273
財務CF E	2,413	12,534	△1,165

ポイント

- D** 営業CF：利益計上の増加に加え、分譲の引渡及び収益不動産の売却進捗に伴う資金回収が進み、新規仕入を継続しながらも回転率の向上により増加
- E** 財務CF：長期借入による収入及び株式の発行による収入がある一方、長期借入金の返済による支出により減少

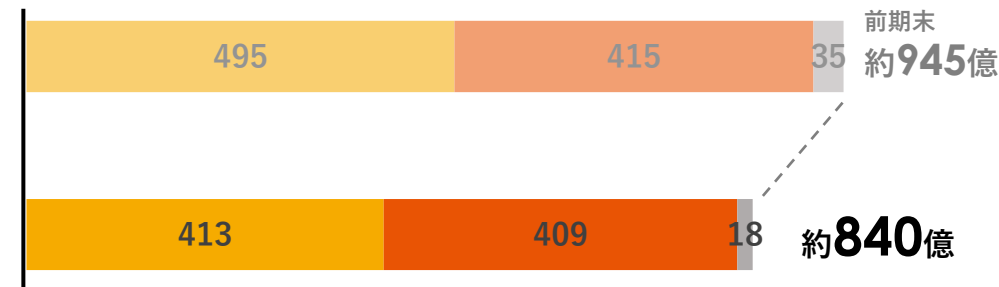
- 分譲及び収益不動産用地の仕入は、進捗するも対2025年3月期末比では減少
- 分譲の完成在庫は、竣工物件多数のため、2026年3月期末時点で479戸。計画通りだが、ペースを落とさず販売に努める

セグメント別B/S内訳

販売用不動産



仕掛販売用不動産



有形固定資産 (土地・建物等)

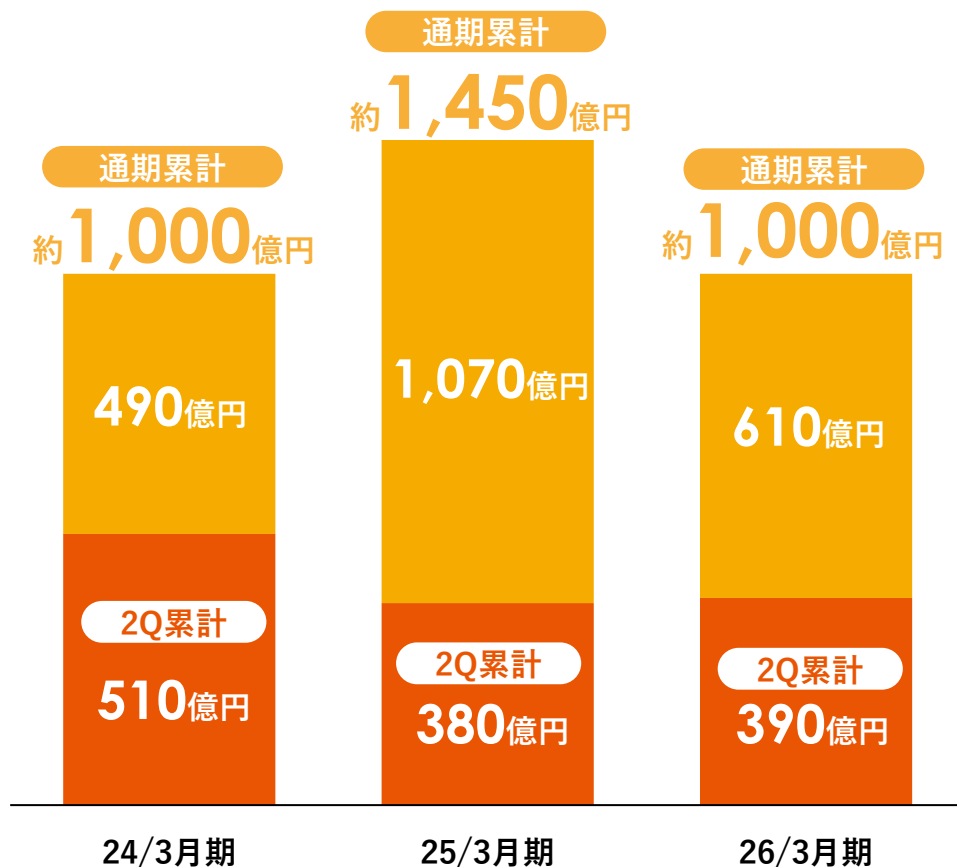


- 不動産開発事業・CCRC事業 (分譲住宅)
- 不動産投資事業 (収益不動産)
- その他

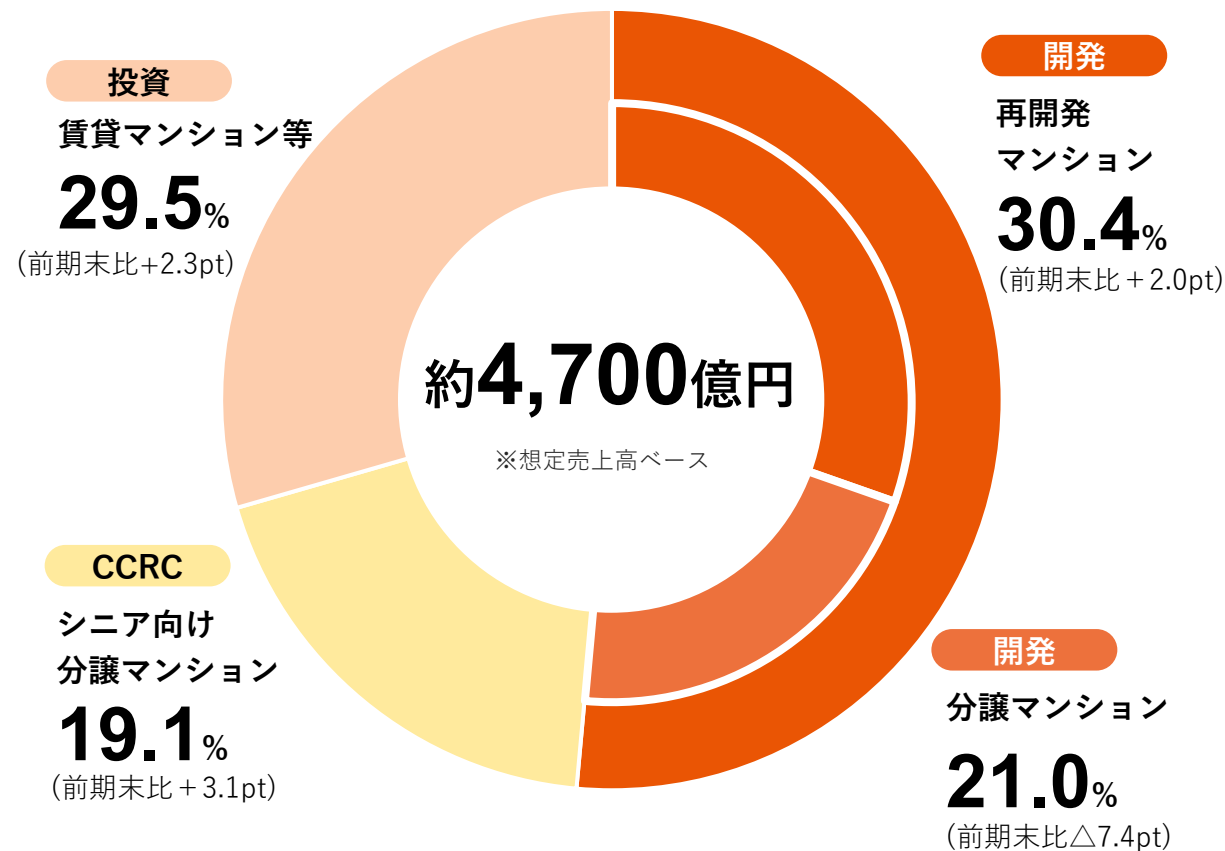
開発用地仕入・用地確保状況

- 2026年3月期通期で、総投資額（意思決定ベース）約1,000億円分の分譲及び収益不動産開発用地を新規に確保
- 仕入環境は年々厳しさを増しているが、着実に每期必要量の確保を実現
- 2027年3月期以降売却予定物件において、想定売上高ベースで約4,700億円分の開発用地を確保済み（約3年分）

全体 総投資額



2027年3月期以降セグメント別用地確保状況



03

2027年3月期 通期業績予想



2027年3月期 連結通期業績予想

- 対前期比では減収ながら、営業利益及び最終利益は増益を計画。分譲（マンション・シニア）引渡戸数の減少により売上高は減収だが、売上総利益率は向上
- 分譲（マンション・シニア）は4Qに竣工が集中。収益不動産は各Qに売却を予定
- 分譲（マンション・シニア）の期初契約進捗率は43.0%

連結業績

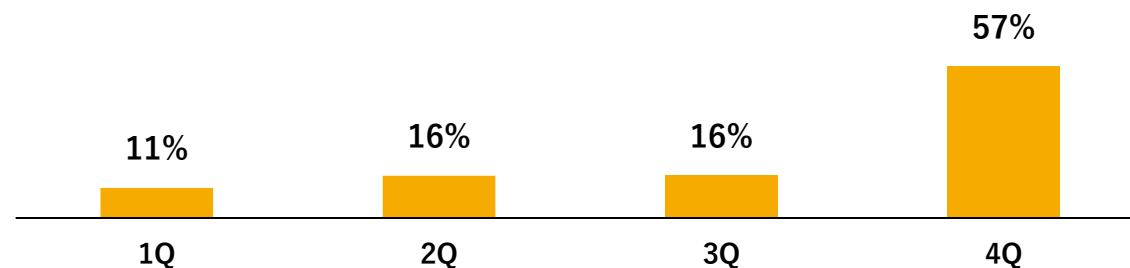
(単位：百万円)	26/3月期		27/3月期		前期比 増減額
	実績	構成比	予想	構成比	
売上高	138,579	—	127,800	—	△10,779
売上総利益	30,476	22.0%	29,200	22.8%	△1,276
営業利益	13,800	10.0%	13,900	10.9%	99
経常利益	11,820	8.5%	10,800	8.5%	△1,020
最終利益	7,129	5.1%	7,200	5.6%	70

経営指標

	26/3月期 実績	27/3月期 予想
自己資本比率	28.0%	—
ROE	15.0%	13%程度
D/Eレシオ	1.9倍	2倍程度
EPS	184.71円	176.03円

分譲(マンション・シニア)及び収益不動産の 通期売上に対する各Q竣工・売却予定

※2027年3月期竣工・売却物件棟数のみであり、実際の売上計上とは異なります



2027年3月期竣工・売却物件及び期初契約進捗率



デュオヒルズ水戸三の丸タワー
(茨城県/総戸数181戸)



デュオヒルズ目白三丁目
(東京都/総戸数9戸)



デュオセーヌ久我山
(東京都/総戸数97戸)



デュオフラッツ千歳船橋
(東京都/総戸数45戸)

分譲マンション(シニア含む)
契約進捗率 (27/3月期初時点)

43.0%

492戸/1,145戸

分譲マンション：404戸/851戸
シニアマンション：88戸/294戸

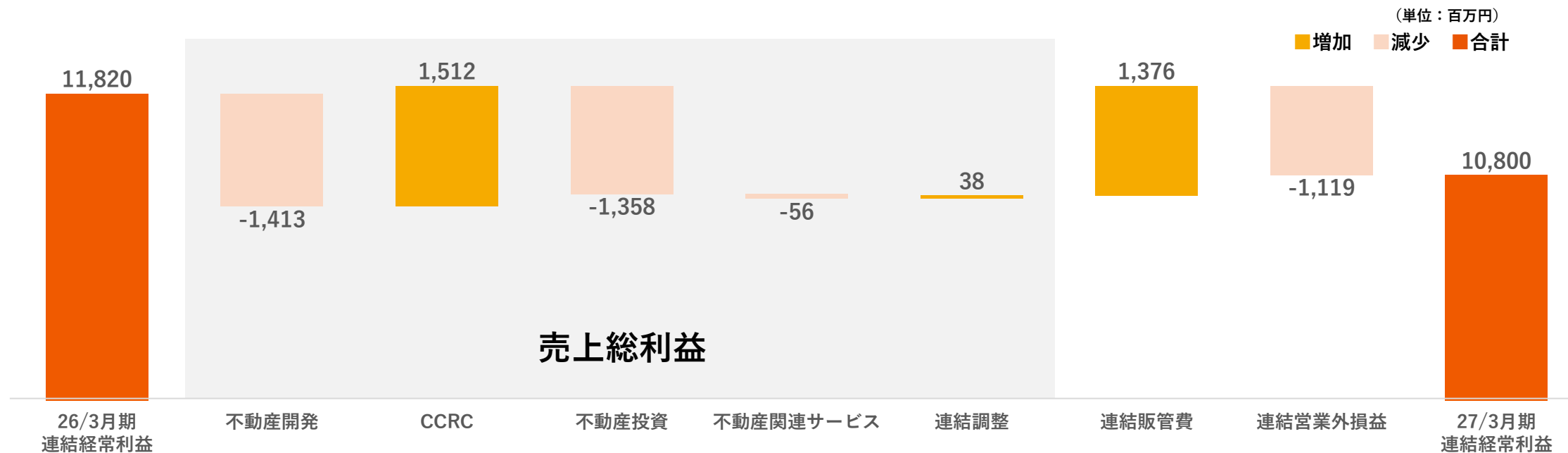
収益不動産契約進捗率
(27/3月期初時点)

6.3%

2棟/32棟

2027年3月期 経常利益の対前期比増減分析

- 不動産開発事業はマンションの引渡戸数の減少(△429戸)により減益だが、戸当たり単価及び売上総利益率は上昇を見込む
- CCRC事業は売上総利益率が19.5%から22.8%に向上し、連結業績に貢献
- 不動産投資事業は2026年3月期に高単価物件があったため、売上高・売上総利益ともに対前期比減となるが、売上総利益率は23.6%を確保
- 連結販管費は販売経費等の減少にて1,376百万円減少。連結営業外費用は、借入コストの増加を見込む



	26/3月期		27/3月期		26/3月期		27/3月期	
売上高(百万円)	63,644	49,500	14,268	18,850	53,794	52,100	8,478	8,250
売上総利益(百万円)	12,013	10,600	2,787	4,300	13,658	12,300	2,156	2,100
売上総利益率	18.9%	21.4%	19.5%	22.8%	25.4%	23.6%	25.4%	25.5%
引渡戸数/棟数	1,280戸	851戸	250戸	294戸	25棟	32棟	-	-

報告セグメントの変更と再編の考え方

- 事業ポートフォリオ管理の高度化を目的として、報告セグメントを変更
- CCRCセグメントは開発機能とオペレーション機能に分けてそれぞれ適切なセグメントへ再配置することで、事業実態と収益構造をより適切に表示
- なお、2025年9月実施の公募増資に係る資金用途の変更はなく、シニアマンション開発に関する用地取得・建築資金に充当する方針に変更なし ※2025年8月18日公表資料参照

旧セグメント(～26/3月期)	主たる事業内容	新セグメント(27/3月期～)	主たる事業内容
不動産開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 分譲マンション開発 	不動産開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 分譲マンション開発 ● シニアマンション開発 変更 ● シニアマンション中古仲介 変更 ● 海外不動産開発 変更
CCRC事業	<ul style="list-style-type: none"> ● シニアマンション開発 ● シニアマンション管理運営 ● シニアマンション中古仲介 	不動産投資事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 収益不動産の開発・賃貸・売却 ● 私募リート・私募ファンドAM
不動産投資事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 収益不動産の開発・賃貸・売却 ● 私募リート・私募ファンドAM ● 海外不動産開発 	不動産関連サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 分譲マンション管理 ● シニアマンション管理運営 変更 ● ホテル運営 ● スポーツクラブ運営 ● PFI事業
不動産関連サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 分譲マンション管理 ● ホテル運営 ● スポーツクラブ運営 ● PFI事業 		

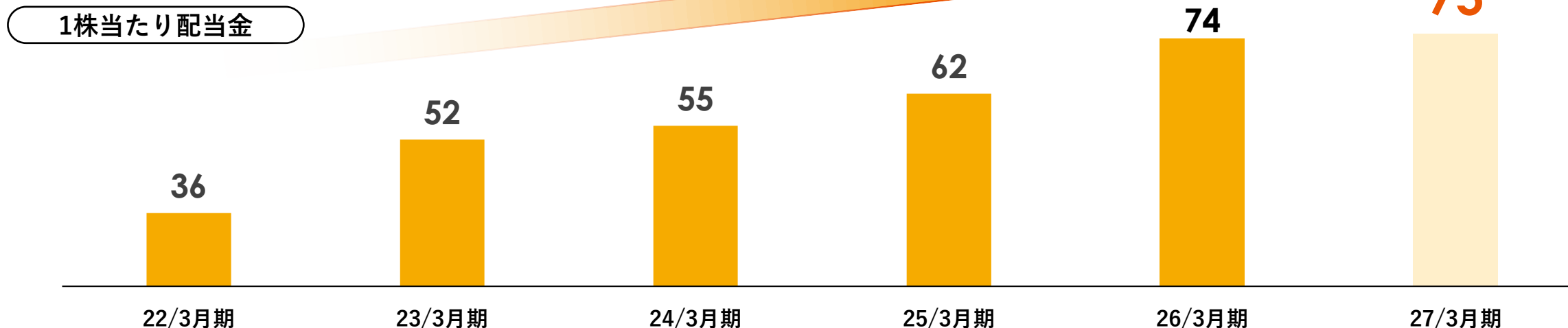


セグメント変更前後の数値比較

	2026/3月期			2027/3月期		
旧セグメント	売上高	売上総利益	売上総利益率	売上高	売上総利益	売上総利益率
不動産開発	63,644	12,013	18.9%	49,500	10,600	21.4%
CCRC	14,268	2,787	19.5%	18,850	4,300	22.8%
不動産投資	53,794	13,658	25.4%	52,100	12,300	23.6%
不動産関連サービス	8,478	2,156	25.4%	8,250	2,100	25.5%
調整額	△1,607	△138		△900	△100	
連結	138,579	30,476	22.0%	127,800	29,200	22.8%
新セグメント	売上高	売上総利益	売上総利益率	売上高	売上総利益	売上総利益率
不動産開発	80,408	14,133	17.6%	68,000	14,700	21.6%
不動産投資	49,586	13,825	27.9%	50,500	11,900	23.6%
不動産関連サービス	10,191	2,655	26.1%	10,200	2,700	26.5%
調整額	△1,607	△138		△900	△100	
連結	138,579	30,476	22.0%	127,800	29,200	22.8%

2027年3月期 株主還元方針

- 「配当性向40%以上・DOE（自己資本配当率）4%以上」の配当方針を継続
- 2026年3月期：1株当たり74円（前期比+12円）
- 2027年3月期：1株当たり75円（2026年3月期比+ 1円）



	22/3月期	23/3月期	24/3月期	25/3月期	26/3月期	27/3月期 (計画)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,068	4,557	4,806	5,462	7,129	7,200
1株当たり配当金	36円	52円	55円	62円	74円	75円
配当総額(百万円)	1,288	1,865	1,982	2,235	3,063	3,104
配当性向	41.5%	40.4%	40.6%	40.4%	40.1%	42.6%
DOE	4.2%	5.6%	5.3%	5.4%	6.0%	5%程度

04

サステナビリティ



サステナビリティに関する当社の取組み

※詳細等は当社サステナビリティサイトをご参照ください。
<https://www.hoosiers.co.jp/csr/>

Topics

豊かなライフスタイル

- シニア向け分譲マンションの開発
- ▶ 2026年3月期：3物件 428戸※の竣工

【竣工物件】

DS横浜青葉台：71戸（2025年12月竣工） ※供給戸数はJV前

DS横濱二俣川：213戸※（2026年2月竣工）

DS千葉蘇我：144戸（2026年2月竣工）



デュオセーヌ横浜青葉台一

地域共創

全国市街地再開発事業の展開

- 全国45事業に参画
- ※2026年3月末時点



PFI事業を通じた地域社会への貢献

- ▶ 水賀池公園整備事業 本格始動

- ・マンションギャラリーOPEN
- ・大阪公立大学との
学術指導契約締結

【学術指導契約のポイント】

- ・コミュニティ特性に応じた地域防災プランの策定
- ・事業関係者・地域住民を対象とした防災人材育成
- ・住民主体の地域防災計画の検討、作成



環境

目標



新築分譲マンション

- 2030年度までに、供給する物件は
全てZEH-M Oriented以上を標準仕様化
- DBJ Green Building認証：年間1棟着工

実績

GRESB2025

- 2スター及びグリーンスター取得
- その他実績 ※2026年3月末時点累計



G R E S B
R E A L E S T A T E
★ ★ ☆ ☆ ☆ 2025

認証名	評価	取得物件数
BELS (建築物省エネルギー性能表示制度)	ZEH-M Oriented	10棟
DBJ Green Building認証	★★★★★	1棟※
	★★★★	14棟※
	★★★	3棟※
CASBEE	フージャース 宇都宮ビル	2024年12月
	フージャース 広島大手町ビル	2024年12月

※プラン認証での取得を含む

ウェルネス



DX推進

- 2025年6月「DXレポート」を初めて発行
- 2025年10月「DX認定事業者」に認定

健康経営への取組み

- 「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」認定

女性活躍推進 ※2026年3月末時点

- 女性比率38.1%
- 女性管理職比率17.6%

有給取得率 ※2026年3月末時点

- 年次有給休暇取得率：67.5%



環境不動産

デュオヒルズ
一宮ザ・レジデンス



ZEH-M
Oriented
取得

(仮称)
三ノ輪レジ開発II



DBJ Green
Building ★4_※
取得 ※プラン認証

フージャース
広島大手町ビル



CASBEE_※
Sランク
取得 ※CASBEE準拠 (既存)

05

Appendix



四半期実績（連結PL）

	単位	24/3月期				25/3月期				26/3月期			
		1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計
売上高	百万円	14,640	28,762	43,079	86,418	9,729	25,577	45,866	92,153	9,712	34,600	51,303	138,579
売上総利益	百万円	3,453	6,836	9,833	20,437	2,216	6,240	11,855	21,794	2,520	7,263	10,854	30,476
売上総利益率	%	23.6	23.8	22.8	23.6	22.8	24.4	25.8	23.7	25.9	21.0	21.2%	22.0%
販売費及び一般管理費	百万円	2,554	4,912	7,467	11,494	2,859	5,680	8,602	12,566	3,326	6,933	10,204	16,676
営業利益	百万円	898	1,924	2,365	8,943	△642	559	3,252	9,227	△806	329	650	13,800
営業利益率	%	6.1	6.7	5.5	10.3	△6.6	2.2	7.1	10.0	△8.3	1.0	1.3%	10.0%
営業外収益	百万円	99	526	664	860	50	758	768	1,506	328	615	995	1,108
営業外費用	百万円	476	944	1,223	2,203	456	904	1,527	2,129	744	1,582	2,399	3,089
経常利益	百万円	521	1,506	1,806	7,599	△1,048	413	2,493	8,604	△1,222	△637	△754	11,820
経常利益率	%	3.6	5.2	4.2	8.8	△10.8	1.6	5.4	9.3	△12.6	△1.8	△1.5%	8.5%
特別利益	百万円	—	5	5	18	—	—	56	66	189	240	251	445
特別損失	百万円	20	20	20	105	88	103	235	262	281	301	302	848
税金等調整前 当期純利益	百万円	501	1,490	1,790	7,512	△1,137	310	2,314	8,408	△1,314	△698	△804	11,417
親会社株主に帰属 する当期純利益	百万円	245	858	1,018	4,806	△960	60	1,251	5,462	△1,214	△855	△969	7,129

PL
関連
データ

四半期実績（連結B/S）



	単位	24/3月期				25/3月期				26/3月期			
		1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末
流動資産	百万円	116,532	118,754	123,133	132,643	134,210	143,853	149,420	153,907	168,128	188,001	187,844	170,027
現金及び預金	百万円	27,135	24,274	22,043	30,709	19,193	24,830	28,094	29,665	22,328	39,690	33,263	37,933
販売用不動産	百万円	19,373	15,191	15,148	19,279	20,545	17,932	14,214	20,442	18,614	21,780	26,193	41,008
仕掛販売用不動産	百万円	61,804	72,827	77,420	75,748	87,306	94,258	97,776	94,506	117,413	116,381	117,451	84,015
その他	百万円	8,218	6,460	8,520	6,907	7,164	6,832	9,334	9,293	9,771	10,149	10,935	7,069
固定資産	百万円	31,964	32,629	32,345	31,756	32,246	30,999	28,350	25,950	23,577	23,180	23,053	19,139
繰延資産	百万円	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	28	25
資産合計	百万円	148,496	151,384	155,478	164,399	166,456	174,852	177,770	179,858	191,705	211,213	210,926	189,192
有利子負債	百万円	88,908	92,327	95,238	90,664	102,298	110,012	111,794	106,634	123,801	127,579	135,716	106,104
その他の負債	百万円	17,116	15,473	17,489	26,876	18,876	18,954	20,412	25,329	22,687	31,509	24,494	27,766
純資産	百万円	42,471	43,584	42,750	46,858	45,280	45,886	45,563	47,894	45,216	52,124	50,715	55,321
自己資本	百万円	34,547	35,606	34,725	38,795	37,160	37,637	37,730	42,143	39,427	46,316	44,859	53,041
自己資本比率	%	23.3	23.5	22.3	23.6	22.3	21.5	21.2	23.4	20.6	21.9	21.3	28.0
D/Eレシオ	倍	2.1	2.1	2.2	1.9	2.3	2.4	2.5	2.2	2.7	2.4	2.7	1.9

B/S
関連
データ

四半期実績（連結CF・その他）

	単位	24/3月期		25/3月期		26/3月期		
		2Q累計	4Q累計	2Q累計	4Q累計	2Q累計	4Q累計	
CF 関連 データ	営業CF	百万円	△9,425	186	△23,751	△14,122	△15,050	10,628
	投資CF	百万円	△2,249	△2,407	226	274	595	273
	財務CF	百万円	5,371	2,413	17,619	12,534	26,016	△1,165
	現金及び現金同等物	百万円	22,459	29,001	23,104	27,739	39,314	37,697

	単位	24/3月期				25/3月期				26/3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
その他 データ	1株当たり当期純利益（EPS）	円	6.94	24.20	28.68	135.32	△27.01	1.71	35.19	153.65	△34.15	△23.57	△25.63	184.71
	自己資本当期純利益率（ROE）	%	—	—	—	13.1	—	—	—	13.5	—	—	—	15.0
	総資産経常利益率（ROA）	%	—	—	—	4.9	—	—	—	5.0	—	—	—	6.4
	引渡戸数	戸	166	277	498	1,374	131	212	404	1,113	37	345	481	1,530
	マンション	戸	125	196	386	1,066	119	193	385	1,062	32	329	459	1,263
	シニアマンション	戸	28	66	86	256	10	11	11	42	4	10	16	250
戸建	戸	13	15	26	52	2	8	8	9	1	6	6	17	

セグメント別の業績推移

(単位：百万円)	24/3月期				25/3月期				26/3月期			
	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計	1Q	2Q累計	3Q累計	4Q累計
連結売上高	14,640	28,762	43,079	86,418	9,729	25,577	45,866	92,153	9,712	34,600	51,303	138,579
不動産開発事業	8,981	12,877	22,268	50,949	5,113	11,843	22,806	53,767	2,483	19,077	24,953	63,644
CCRC事業	1,436	3,295	4,316	12,145	807	1,248	1,640	3,726	575	1,289	1,961	14,268
不動産投資事業	2,587	9,282	11,499	16,553	2,028	8,982	16,127	27,621	4,962	10,732	19,152	53,794
不動産関連 サービス事業	1,904	3,875	5,887	7,967	2,090	4,190	6,334	8,465	2,129	4,259	6,384	8,478
調整額	△269	△567	△893	△1,197	△309	△688	△1,042	△1,427	△438	△759	△1,148	△1,607
連結売上総利益	3,453	6,836	9,833	20,437	2,216	6,240	11,855	21,794	2,520	7,263	10,854	30,476
不動産開発事業	2,215	3,104	4,805	11,168	1,139	2,901	6,454	12,499	408	3,477	4,563	12,013
CCRC事業	398	899	1,147	3,587	247	364	463	832	121	248	388	2,787
不動産投資事業	485	2,066	2,659	4,028	362	2,108	3,529	6,703	1,599	2,609	4,495	13,658
不動産関連 サービス事業	431	888	1,389	1,901	469	962	1,504	2,011	486	1,014	1,585	2,156
調整額	△77	△121	△169	△248	△3	△96	△97	△253	△95	△85	△178	△138
連結営業利益	898	1,924	2,365	8,943	△642	559	3,252	9,227	△806	329	650	13,800
不動産開発事業	703	218	397	4,166	△396	△351	1,335	4,849	△1,686	△955	△1,582	2,695
CCRC事業	55	247	205	2,193	34	△59	△182	△355	△211	△386	△657	706
不動産投資事業	91	1,285	1,430	2,259	△321	809	1,845	4,404	950	1,259	2,274	9,505
不動産関連 サービス事業	55	127	256	346	75	176	320	403	89	230	415	541
調整額	△7	44	75	△21	△34	△15	△66	△73	51	182	199	351

会社概要

社名	株式会社フージャースホールディングス
グループメッセージ	私たちが大切にしていること「これまでにない、に挑み続ける」 私たちが何を約束するのか「欲しかった暮らしを、しよう」 私たちが何をめざすのか「ソーシャルデベロッパー®へ」
代表者	代表取締役 社長執行役員 小川 栄一
所在地	東京都千代田区丸の内2-2-3 丸の内仲通りビル
従業員数	グループ全体 924名（女性社員比率38.1%）※
設立	2013年4月
フージャース創業	1994年12月
支店・拠点	北海道・東北・名古屋・京都・大阪・中四国・九州
上場取引所	東証プライム（証券コード：3284）
ガバナンス体制	取締役会：取締役7名で構成〔うち、独立社外取締役4名（男性3名・女性1名）〕 監査等委員会設置会社 指名報酬諮問委員会設置



Hoosiers

社名の由来
フージャース…アメリカ中部インディアナ州の州民の愛称
その地域の住民は、年収よりも、豊かな住環境を大切にしています。当社の社名にも同様に「日本の住まいを豊かにしたい」という想いが込められています。

※ 2026年3月31日時点

沿革

- 1994年に設立し、住宅開発を主軸に成長



Group
Message

Hoosiers

| 私たちは何をめざすのか
Hoosiers PURPOSE |

ソーシャルデベロッパー®へ

先の見えない時代において危機感を持ち、
変化に対応しながらさまざまな課題に向き合う。
事業を通じて解決へと導く、
「ソーシャルデベロッパー®」へ。

| 私たちは何を約束するのか
Hoosiers PROMISE |

欲しかった暮らしを、しよう

一人ひとりの声なき声に耳を傾け、
多様化するニーズの本質に向き合う。
お客様も気づいていない半歩先を提案し、
「欲しかった暮らし」に全力を尽くす。

| 私たちが大切にしていること
Hoosiers WAY |

これまでにない、に挑み続ける

前例のないことや不可能と思えることにも果敢に挑み、
唯一無二のソリューションを体現し続ける。
常に本質を見極め変化を楽しみ、
これまでの非常識を新たな常識へと変革する。

－分譲マンション事例－

- 主に人口10～50万人規模の地方都市で開発。近年は都心部でも開発中
- 全国41都道府県に進出済



33万人都市 福島県いわき市

ミッドタワーいわき

住戸216戸
2024/11 竣工

3万人都市 奈良県磯城郡田原本町

デュオヒルズ田原本駅前

住戸76戸
2024/1 竣工

10万人都市 岐阜県多治見市

ミッドライズタワー多治見

住戸225戸
2022/10 竣工

14万人都市 広島県広島市南区

デュオヒルズ比治山レジデンス

住戸110戸
2023/4 竣工

23万人都市 佐賀県佐賀市

デュオヒルズ城内

住戸87戸
2025/2 竣工

首都圏 東京都豊島区

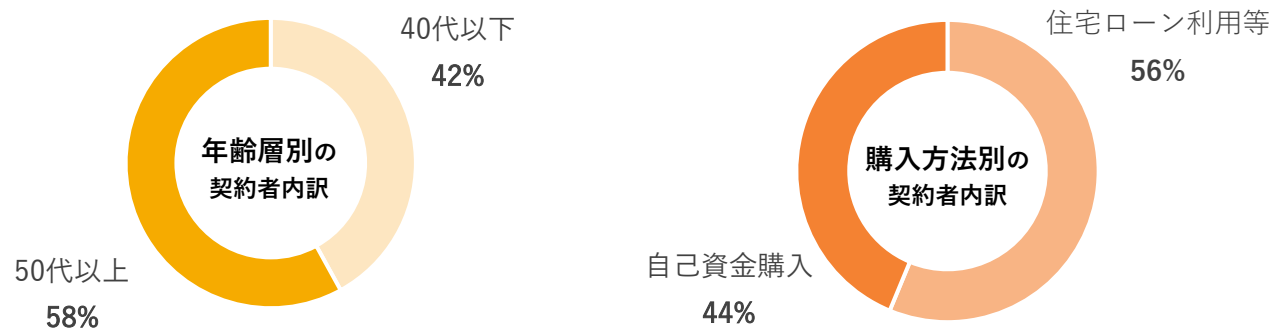
デュオヒルズ目白三丁目

住戸9戸
2026/3 竣工

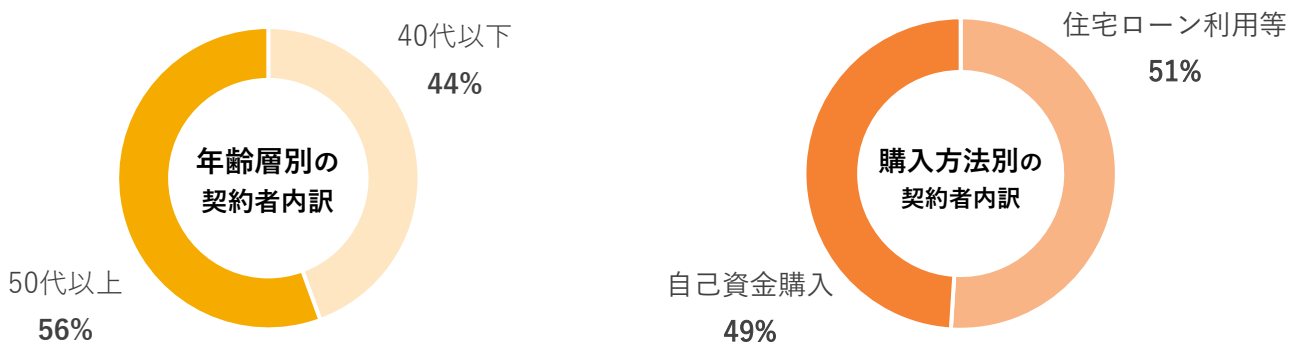
－分譲マンションの顧客属性－

- 自己資金購入の顧客層が一定あり、市況の変化（金利変動）に左右されにくい

事例①：中部・甲信越地方（約37万人都市）

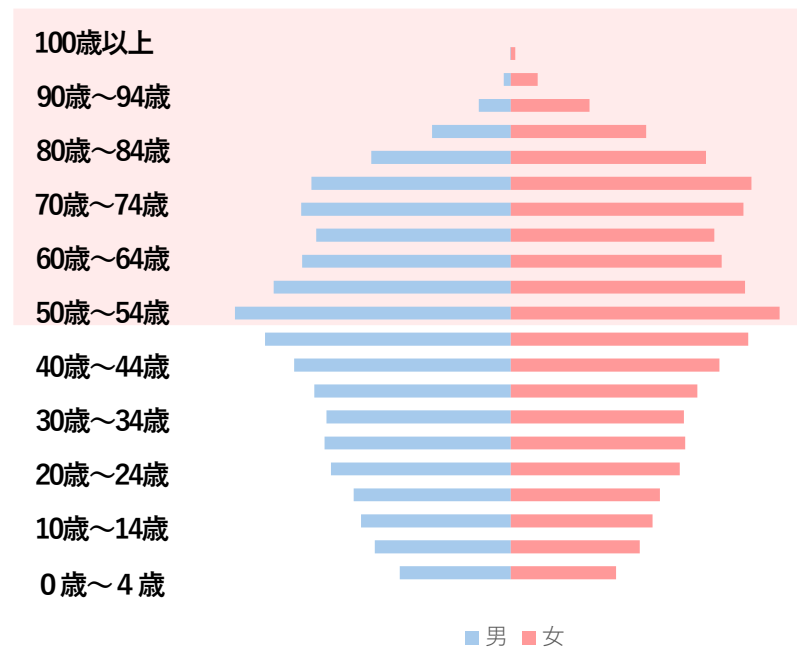


事例②：東北地方（約24万人都市）/地方再開発



顧客の多数が「50代以上」かつ「富裕層」

※参考：日本の年齢階級別人口



2025年1月1日時点

出所：総務省統計局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査（2025年）」

シニア向け分譲マンションの立ち位置

- シニア向け分譲マンションはこれまでになかった選択肢

権利方式による違い	自宅	シニア向け分譲マンション	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム
	権利方式	所有権	所有権	賃借権
資産価値	◎	◎	×	×
生活の自由	◎	◎	△	×

主な高齢者向け施設 (2022年時点)

主な高齢者向け施設	物件数
シニア向け分譲マンション	約100
サービス付き高齢者向け住宅	約8,000
有料老人ホーム	約16,000
グループホーム	約14,000
特別養護老人ホーム	約11,000

高

自立度 ↑

自宅と同じ
自由な暮らしが
可能

資産価値のある
所有権方式

予防医療・
介護予防など
手厚いサポートが
受けられる

出所：「東京カンテイ、『シニア向け分譲マンション』の供給動向について調査・分析」、
「厚生労働省 老健局、有料老人ホームの現状と課題・論点について」を基に弊社作成
※シニア向け分譲マンションは2022年7月時点、その他は2022年度時点の実績です。

－シニア向け分譲マンションの特徴－

「健康寿命」をキーワードに元気なシニアが自分らしく暮らせる新しい形の高齢者住宅

デュオセーヌ

- 自宅と同じ自由な暮らし
- 資産価値のある所有権方式
- 予防医療・介護予防など手厚いサポート



コンセプト

欲しかった日々を謳歌する

健康寿命を延ばし
自分らしい暮らしを
より長く過ごす

主な特徴

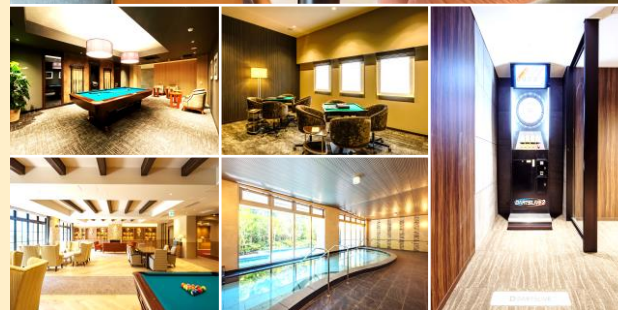
- 所有権による資産価値 ▶ 部屋の売却や賃貸、家族への相続が可能
- 中古仲介事業を自社で対応
- 通常の管理費にプラスしたライフサービス収入

(注) "CCRC"とは：Continuing Care Retirement Communityの略。
高齢者が健康時から介護時まで、移転することなく継続的にケアが保証されるコミュニティ

充実した共用施設

「場」が「元気」を保つ

季節のイベントやサークル活動の実施



安心の
サポート・サービス体制



24時間365日
スタッフ常駐



介護事業所との連携



協力医療機関との連携



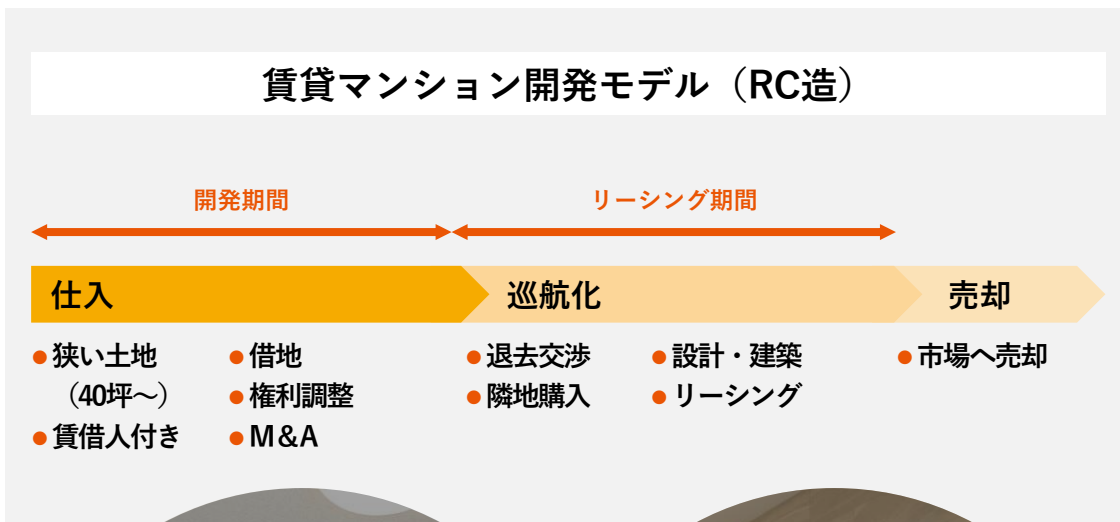
健康相談ができる
看護師が常勤



健康サポート

－新築賃貸マンション開発－

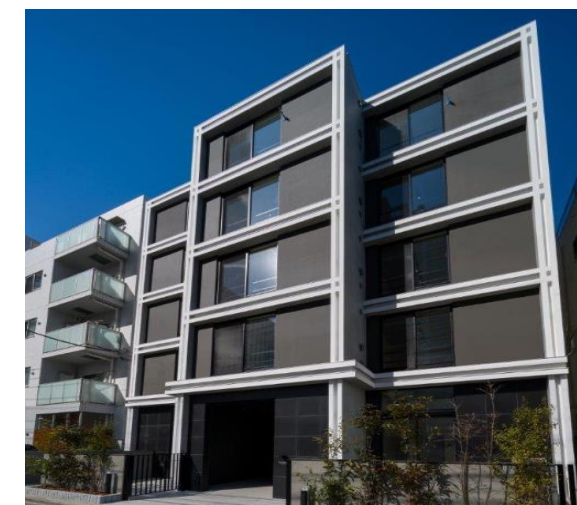
- 賃貸マンションの開発を強化。開発力を生かした仕様にてNOIを高める



物件	中高層賃貸マンション
ブランド名	DUO FLATS デュオフラッツ
物件売上規模/1棟	15 - 25億円
物件戸数規模	30 - 50戸
開発エリア	都内、地方中核都市
売却先	プロ投資家 ファンド、リート、 事業会社



物件	低層賃貸マンション
ブランド名	DUO MAISON デュオメゾン
物件売上規模/1棟	4 - 8億円
物件戸数規模	10 - 20戸
開発エリア	都内
売却先	個人資産家

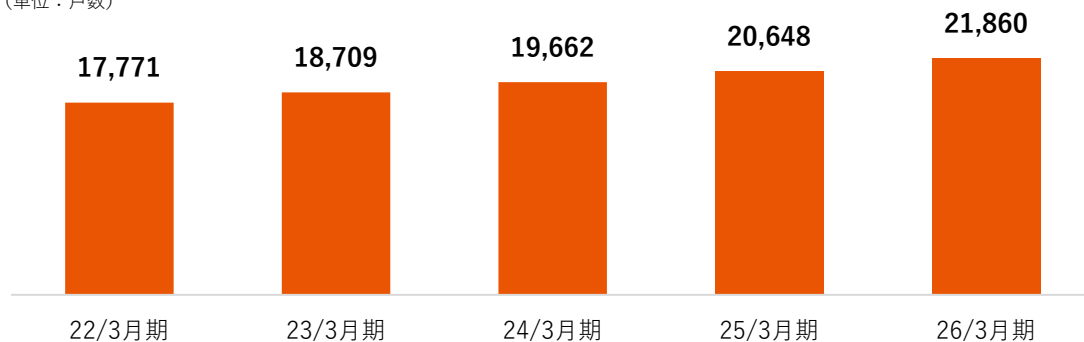


－不動産関連サービス－

- マンション管理・シニアマンション運営は、安定収益の拡大と新たな付加価値の提供
- スポーツクラブ運営は、地方再開発やPFIのコンテンツとしてグループシナジーを発揮
- ホテル運営は、グループ保有のアセット等を運営し、インバウンド需要等を取り込む

マンション管理戸数の推移

(単位：戸数)



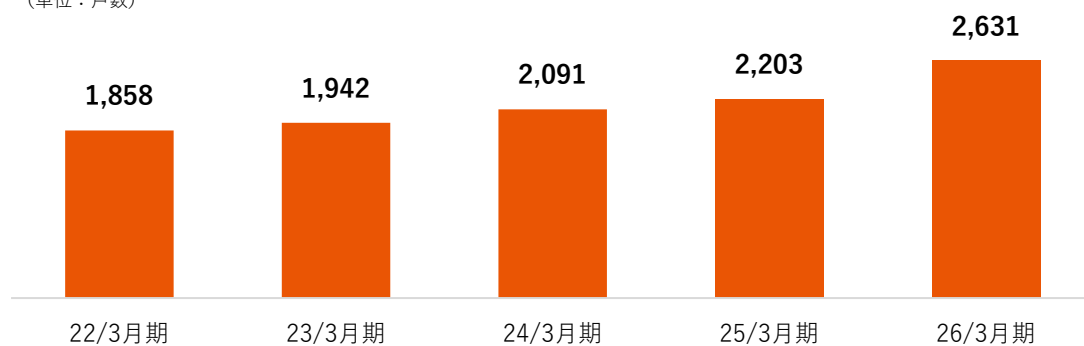
※マンション管理戸数は、シニア向け分譲マンション及び(株)ホームパートナーズのマンション管理戸数を除く

スポーツクラブ・ホテル運営

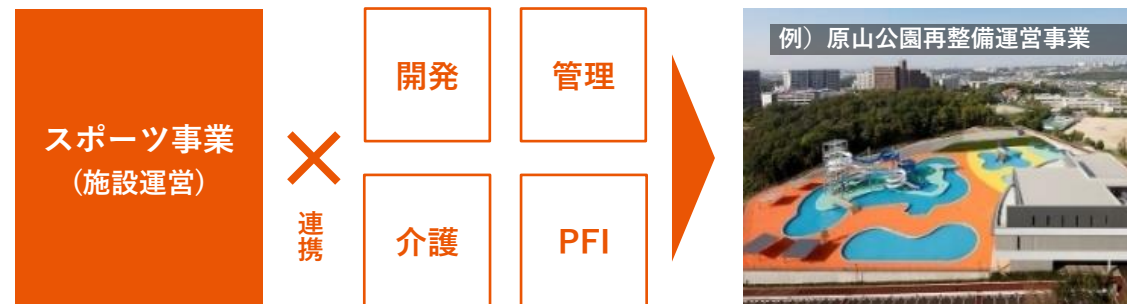


シニアマンション運営戸数の推移

(単位：戸数)



事業間連携によるグループシナジー



例) 原山公園再整備運営事業

株式会社フージャースホールディングス

経営企画部 03-3287-0704

ir@hoosiers.co.jp

<https://www.hoosiers.co.jp>

本資料に記載されている、意見や予測、今後の見通し等は、当社グループが、資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受け、大きく変動することも考えられます。従いまして、実際の業績及び戦略等につきましては、この配布資料に記載されている内容とは、大きく異なる可能性がございますことを、あらかじめご承知おきください。また、事前の承諾なしに本資料に掲載されている内容の複製・転用等を行うことを禁止します。
